

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	北秋津・上安松地区まちづくり調整事業	所管	まちづくり計画部 都市整備課
			Tel 2998-9208

事業の目的 (何の為に 行うか)	本事業地区を土地区画整理事業により、所沢駅及びJR新秋津駅近接地区にふさわしいまちとして、道路、公園、下水道等の都市施設を総合的に整備し、防災及び住環境を高め安全で安心して生活ができるまちづくりを行う。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	北秋津・上安松地区(北秋津・上安松地区の各一部)のまちづくり計画対象面積	対象とした数	51	ha
		実際に 利用した数	51	ha

活動の内容	(何を したか)	戦略的環境影響評価及び自然環境調査の結果に基づき、まちづくりの方向性について、さらに地権者との意見交換、関係機関との調整を行う。今後は、まちづくり調整事業を進めるため、①基本構想・基本設計の作成 ②現況測量・地区界測量、権利調査 ③事業計画作成 ④環境影響評価(環境アセス) ⑤事業評価、実施計画作成 を行い、都市計画決定・事業認可を目指す。								
		活動実績	項目名	地区内地権者説明会	3	項目名	地権者研究会	1	項目名	自然環境調査(行動圏調査・保護対策)
				----- 単位 回			----- 単位 回			----- 単位 回

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	212	96	10,899	32.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	事業化率	実施項目数/事業化に必要な項目数	12 ----- 単位	4 ----- 単位	33.3 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止
	予算	現状どおり * 増額		減額		終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []		終了	
	予算	現状どおり 増額		* 減額 終了	

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	060200	TEL	2998-9208
事業コード	060202	北秋津・上安松地区まちづくり調整事業	まちづくり計画部 都市整備課			
開始年度	昭和 59 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ		計画グループ				

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市まちづくり基本方針 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針			土地区画整理法(昭和29年5月20日法律第119号)
	関連・類似事業	所沢駅西口まちづくり調整事業			
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	2節 市街地整備
		中柱	1 市街地開発事業の推進	小柱	(1)市街地整備計画の策定
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 34 位			・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	1131	計画段階からの市民参加の充実	コード	
	事業開始の背景	本事業地区は昭和59年に暫定逆線引き区域に指定され、平成15年に暫定逆線引き制度が廃止されたが、市の中心に位置し駅への利便性も良いことから、多くの地権者のまちづくりへの意向が高く、良好な市街地としての土地利用が期待されている。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	本事業地区を土地区画整理事業により、所沢駅及びJR新秋津駅近接地区にふさわしいまちとして、道路、公園、下水道等の都市施設を総合的に整備し、防災及び住環境を高め安全で安心して生活ができるまちづくりを行う。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	北秋津・上安松地区(北秋津・上安松地区の各一部)のまちづくり計画対象面積			北秋津・上安松地区(北秋津・上安松地区の各一部)のまちづくり計画対象面積			
	対象数	単位	平成 18 年度	51	ha	平成 19 年度	51
		平成 19 年度	51	ha	平成 19 年度	51	ha
	事業の具体的な内容及び実施方法						
	戦略的環境影響評価及び自然環境調査の結果に基づき、まちづくりの方向性について、さらに地権者との意見交換、関係機関との調整を行う。今後は、まちづくり調整事業を進めるため、①基本構想・基本設計の作成 ②現況測量・地区界測量、権利調査 ③事業計画作成 ④環境影響評価(環境アセス) ⑤事業評価、実施計画作成 を行い、都市計画決定・事業認可を目指す。						

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
	なし			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		6,029	212	312	
	決 算 (見込み含む)		4,920	96		
		(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		1.20 人	11,040	1.15 人	10,803
						※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
	公債費				0	
	事業費合計		15,960	10,899		
	財源内訳	一般財源		15,960	10,899	312
		国・県支出金				
受益者負担金						
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		47.2	32.1			
利用数一単位あたり(単位:円)		312,941.2	213,707.8			

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	地区内地権者説明会	開催回数	回		3	3
		地権者研究会	開催回数	回		1	1
		自然環境調査(行動圏調査・保護対策)	調査回数	回	1	0	0
	成果分析	事業化率	実施項目数/事業化に必要な項目数	目標値	12	12	12
実績				2	4	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	
%				達成率	16.7	33.3	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	環境側面の調査結果から、緑地の保全割合が高く、従来の減歩率以上に負担がかかることを説明した。今後は、緑地の保全方法の検討が必要である。			

⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	事業の方向性を検討する。	事業の方向性を検討するための説明会及び意向アンケート調査を実施し、事業の方向性を決定する。	平成21年2月
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由			
	所沢駅近接地区にふさわしい都市機能の導入と、現存する緑を活かした良好な住宅市街地形成を目指す。さらに地権者との意見交換・協議を進め事業化に向けた検討・調査を実施する。			
	評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	都市整備課長 関谷 佳和

⑨個別計画における方向性	事後評価				平成21年度における事業の方向性	
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 3 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価理由	緑の基本計画において保全対象とされている柳瀬川沿いの斜面林を含んでいるため、計画の策定にあたっては、緑地や自然環境の保全に関する市の方針との整合性に十分配慮した上で「引き続き」実施すべきと評価した。					
評価日	9月1日					

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			